

製品名: FUT2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11189**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	FUT2 FUT2; SEC2; Galactoside 2-alpha-L-fucosyltransferase 2; Alpha(1; 2)FT 2; Fucosyltransferase
別名	2; GDP-L-fucose:beta-D-galactoside 2-alpha-L-fucosyltransferase 2; SE2; Secretor blood group alpha-2-fucosyltransferase; Secretor factor; Se
遺伝子 ID	2524.0
SwissProt ID	Q10981
免疫原	ヒト FUT2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

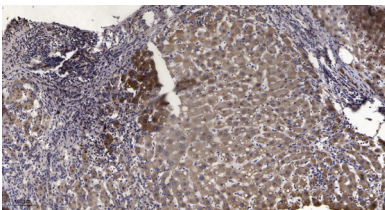
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ゴルジスタック膜タンパク質であり、可溶性 A 抗原および B 抗原合成経路の最終段階に必要な H 抗原の前駆体の生成に関与しています。この遺伝子は、ガラクトシド 2-L-フコシルトランスフェラーゼ酵素をコードする 2 つの遺伝子のうちの 1 つです。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: GDP-β-L-フコース + β-D-ガラクトシル-(1→3)-N-アセチル-β-D-グルコサミン-(1→3)-β-D-ガラクトシル-(1→4)-β-D-グルコシル-(1→1)-セラミド = GDP + α-L-フコシル-(1→2)-β-D-ガラクトシル-(1→3)-N-アセチル-β-D-グルコサミン-(1→3)-β-D-ガラクトシル-(1→4)-β-D-グルコシル-(1→1)-セラミド、疾患: FUT2 の遺伝子変異は、ビタミン B12 血漿濃度の量的形質遺伝子座 1 型 (B12QTL1) と関連している [MIM:612542]。ビタミン B12 の血漿濃度は、多くの疾患に関連する変更可能な量的形質です。肉や乳製品に含まれるビタミン B12 は、コリン環とコバルト環で構成されており、赤血球の形成、細胞分裂中の DNA 合成、ミエリン神経鞘の維持など、様々な機能に不可欠です。ビタミン B12 欠乏症は、臨床的には悪性貧血、心血管疾患、癌、神経変性疾患と関連しており、食事からの直接的な欠乏ではなく、腸管での B12 吸収不良に関連することがよくあります。、機能: H 抗原と呼ばれる可溶性前駆体オリゴ糖 FuC-α ((1,2)Galβ-) を生成します。これは、可溶性 A 抗原および B 抗原合成経路の最終段階に不可欠な基質です。H 酵素と Se 酵素は同じ受容体基質をフコシル化するが、Km 値は異なる。、その他: ガラクトシド 2-L-フコシルトランスフェラーゼをコードする遺伝子は 2 つ (FUT1 と FUT2) ある。これらは組織特異的に発現し、それぞれ中胚葉または内胚葉由来の細胞に限定されている。、オンライン情報: 血液型抗原遺伝子変異データベース、オンライン情報: フコシルトランスフェラーゼ 2、オンライン情報: 糖遺伝子データベース、経路: タンパク質修飾; タンパク質グリコシル化、多型: 日本人では Se1、Se2、Sej の 3 つの対立遺伝子が同定されている。、類似性: グリコシルトランスフェラーゼ 11 ファミリーに属する。、細胞内局在: ゴルジ体トランスシステルナ内の膜結合型。、組織特異性: 小腸、結腸、肺。、

研究分野

スフィンゴ糖脂質合成;スフィンゴ糖脂質合成;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。